

# CASBEE<sup>®</sup> 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都七条 ホテル計画	階数	地上9F 地下1F
建設地	京都市下京区七条通間之町東入材木町491番地他	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,180 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2018年6月28日
敷地面積	2,435.03 m <sup>2</sup>	作成者	戸田建設
建築面積	1,921.13 m <sup>2</sup>	確認日	2018年6月28日
延床面積	16,851.81 m <sup>2</sup>	確認者	戸田建設



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 78%  
 ③上記+②以外の 78%  
 ④上記+ 78%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.3

LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
京都市に計画されたホテルである。耐用性の長い材料(内装材・配管材)の採用や、太陽光発電や高効率な設備機器の導入による環境負荷の低減に配慮した建物である。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・室内のサッシは遮音性能T-2を確保する事で、音環境に配慮している。	・耐用性の長い内装材・配管材の採用により、建物の持続性に配慮している。 ・防汚性の高い内装材を採用し、建物の維持管理機能に配慮している。	・新たな植栽を行うことにより、生物環境の保全と創出に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。 ・太陽光発電を採用している。	・再利用可能な部材を採用し、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	・駐車場の計画は利便性、交通渋滞緩和に配慮している。 ・屋外照明の計画は、周囲への漏れ光に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される